

# 第3回糸島市中学生子どもサミット

## 概要

### 1 これまでの経緯と『糸島市子どもサミット』の特徴

平成26年度からスタートした「子どもサミット」では、今後関わりが避けられないSNSと賢く付き合っていくために、各中学校の生徒会役員を中心に、糸島市内の中学校全員によるSNSルールづくりを行ってきました。昨年度行われた「第2回子どもサミット」では、糸島市中学生の第1次ルールを策定しました。

この取り組みの特徴は「効果的なルールとは何かを考える自主的な取組であること」と「そのときの中学生がルールを更新し続け、問題に対する当事者意識を継続すること」です。

### 2 中学生が「糸島市 SNS ルール〔第2次〕」を決定します！

今回は、第1次ルールやこれまでの各学校の取組の成果と課題を踏まえ、新生徒会役員（現2年生）が、さらに効果的で現実的なルールにするために、第2次ルールについての議論を行い、決定します。全校生徒の代表としての生徒会役員たちの志と責任がぶつかり合う議論とともに、「中学生の、中学生による、糸島市全中学生のための SNS ルール」を、ぜひご覧ください。

また、当日は福岡教育大学教授古川健一先生に、「未来のIT社会への準備をはじめよう～過去、現在そして未来へ～」と題し、ICT教育やSNSについての講演会も開催します。

### 3 期日・場所等

開催日時 平成29年3月4日（土曜日）13時30分から16時40分まで

開催場所 伊都文化会館 多目的ルーム

参加締切 平成29年2月17日（金）

定員 一般参加 先着20名 ※入場無料

※詳細につきましては、別紙チラシをご参照ください。

【問い合わせ先】

教育部 学校教育課 指導係

担当：武田 巨史

TEL：323-1111（内線2125）

332-2097（直通）



# 第3回糸島市中学生子どもサミット



平成29年3月4日(土) 13:30  
in 伊都文化会館

## 中学生が決める! 糸島市SNS第2次ルール!!

### みどころポイント

- その ① 糸島市SNSルール〔第2次〕決定の瞬間!
- その ② 世代交代した**新生徒会役員**の初議論!
- その ③ 福岡教育大学古川健一先生講演会の同時開催!

### 糸島市子どもサミットとは?

平成26年度からスタートした「子どもサミット」。  
SNSと賢く付き合っていくために、糸島市立6中学校の生徒会役員を中心にルールづくりを行ってきました。  
今回は、ルール決定後の成果と課題を踏まえ、さらに効果的で現実的なルールにするために議論します!  
全校生徒の代表として、生徒会役員たちの意見がぶつかり合う議論とともに、「中学生の、中学生による、糸島市全中学生のためのSNSルール決定の瞬間」を、ぜひご覧ください!



平成27年度に決定した第1次ルール

**SNSに関する  
3つのルール**

糸島市子どもサミット  
平成28年2月22日採択  
糸島市立6中学校生徒会

- **家族だらんの時間を優先する。**  
各家庭でスマホやSNS使用のルールをつくりましょう。  
これから授業やスマホを持つ人は、はじめに使用時間や定額制などのルールを決めておくようにしましょう。
- **宿題・家庭学習など、やるべきことを先にする。**  
勉強しながら、歩きながらなどの、「ながらスマホ」はしないようにしましょう。  
特に、学習中はサイレント設定にし、向きをしておくことをお勧めします!
- **携帯、スマホ、テレビ、インターネット、ゲームの時間は、あわせて1日2時間以内とする。**  
使用時間については家庭で話し合ってください。心身の休息のために、深夜や早朝は、使用時間内に設定しないでください。

マナーとして、大事にしてください!  
◇ 個人情報(写真・アドレスなど)はのせない、教えない。  
◇ 信頼できる人相談づくり、相談できる環境づくりをする。

糸島市  
教育委員会

### 講演

未来のIT社会への準備をはじめよう  
～過去、現在そして未来へ～



講師 古川 健一 先生  
福岡教育大学 教授  
(教育学)

- 研究分野  
教育学、ICT環境デザイン、ソフトウェア開発、マルチメディア、ネットワーク管理、システム設計
- 教育分野  
情報教育、ICT活用教育、現職教員研修 (ICT活用)
- 委員等  
宗像市情報推進会議委員長 他多数

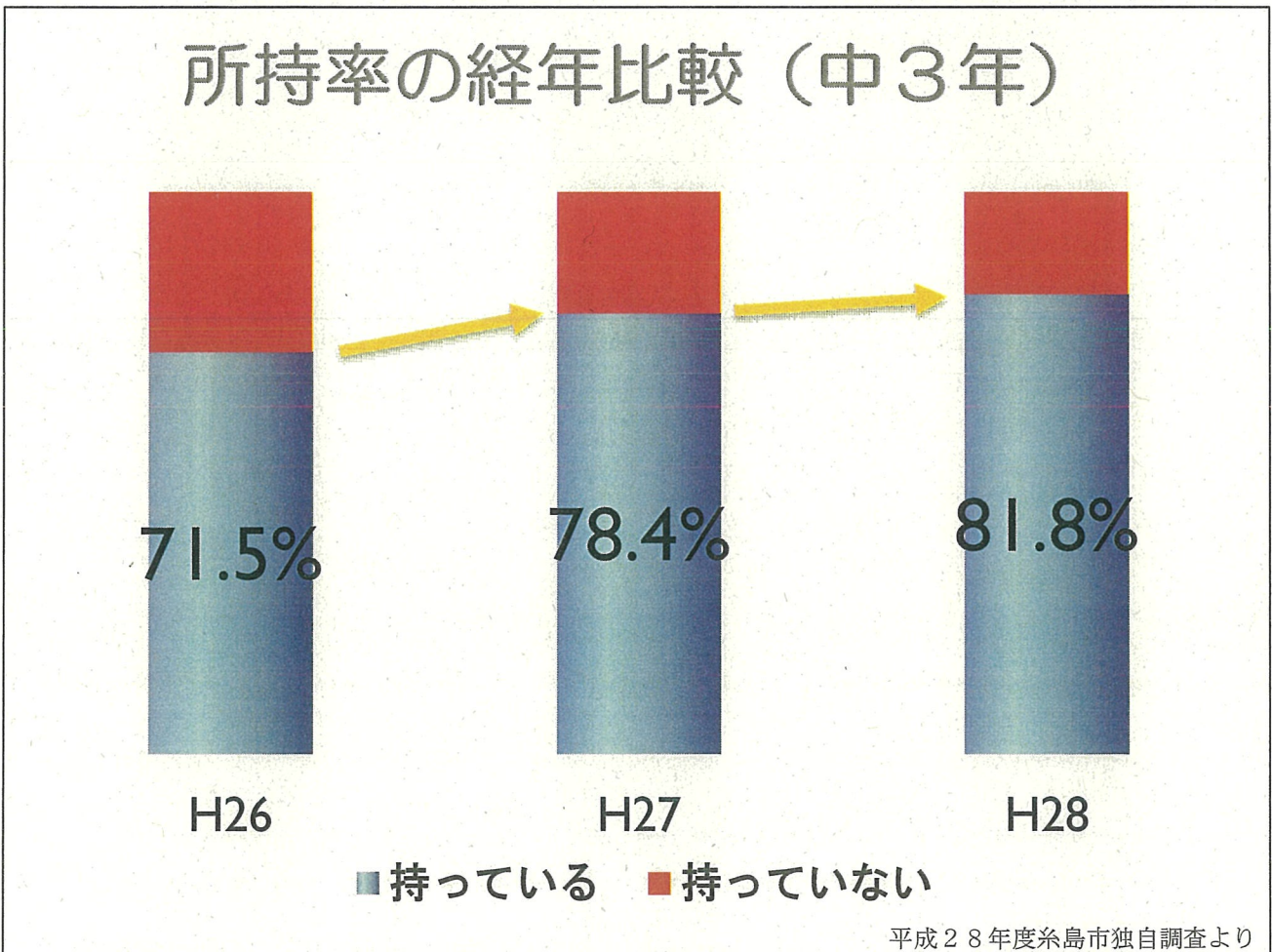
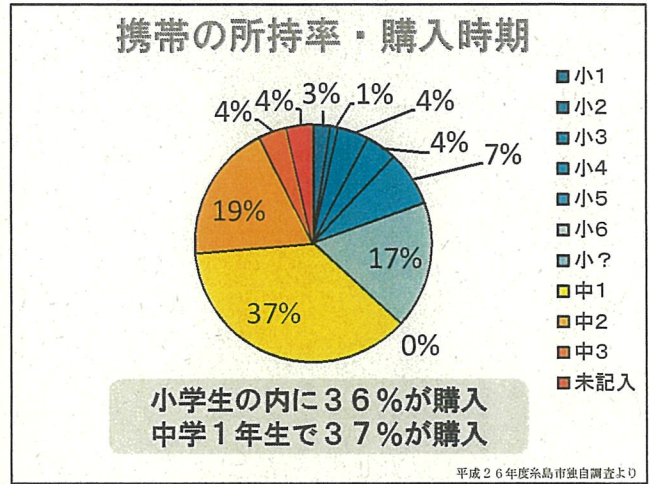
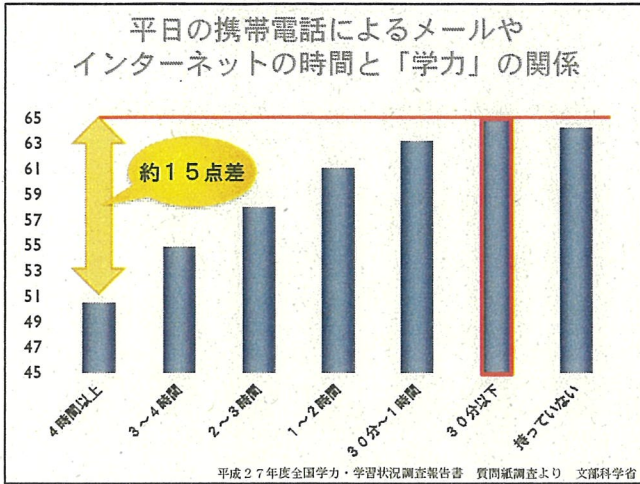
開催日時 平成29年3月4日(土) 13:30~16:45  
開催場所 伊都文化会館 多目的ルーム  
定員 一般参加 先着20名 **※入場無料**  
観覧のお申し込みは電話、またはFaxで  
申込締切 平成29年2月17日(金)



糸島市教育委員会 学校教育課・生涯学習課  
Tel 092-323-1111 Fax 092-321-0920  
E-mail gakkoyoiku@city.itoshima.lg.jp



### 第3回糸島市子どもサミット資料







糸島市子どもサミット  
平成28年2月22日採択!!

# SNSに関する 3つのルール

糸島市立6中学校生徒会

## □ 家族だんらんの時間を優先する。

各家庭でスマホやSNS使用のルールをつくりましょう。  
これから携帯やスマホを持つ人は、はじめに使用時間帯や使用場所などのルールを決めておくようにしましょう。



## □ 宿題・家庭学習など、やるべきことを先にする。

勉強しながら、歩きながらなどの、「ながらスマホ」はしないようにしましょう。  
特に、学習中はサイレント設定にし、裏向きにしておくことをお勧めします！



## □ 携帯、スマホ、テレビ、インターネット、ゲームの時間は、あわせて1日2時間以内とする。

使用時間帯については家庭で話し合っ決めてください。  
心と体の休息のために、深夜や早朝は、使用時間帯に設定しないでください。



### マナーとして、大事にしてください！

- ◇ 個人情報（写真・アドレスなど）はのせない、教えない。
- ◇ 信頼できる人間関係づくり、相談できる環境づくりをする。

糸島市  
教育委員会





## 平成29年2月から 糸島市認知症初期集中支援チームを設置します

認知症が疑われる人又は認知症の人、及びそのご家族に訪問し、初期の支援を集中的に行い、在宅生活をサポートする「認知症初期集中支援チーム」を設置します。

### ◆事業目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、早期診断・対応に向けた支援体制を構築する。

### ◆認知症初期集中支援チームとは

認知症の早期診断・対応を目的とした医療と介護の専門職で構成されたチーム。認知症サポート医を中心に保健師、作業療法士等の医療職と社会福祉士等の介護職からなるチーム構成により、多面的な支援が可能となる。

※認知症サポート医：独立行政法人国立長寿医療研究センターが行う認知症サポート医研修を受講した医師をいう。かかりつけ医への助言等の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる。

糸島市におけるチーム員（11名）：認知症サポート医、精神保健福祉士、作業療法士、  
地域包括支援センター保健師・看護師、介護・高齢者支援課保健師

### ◆支援対象者

40歳以上で在宅生活をしており、認知症が疑われる人又は認知症の人で、以下の基準に該当する人

- (1) 認知症の診断を受けていない人
- (2) 継続的な医療サービスを受けていない人
- (3) 適切な介護サービスに結びついていない人
- (4) 介護サービスが中断している人
- (5) 医療サービス、介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している人

### ◆支援の流れ

- (1) 窓口や電話で地域包括支援センター職員が相談を受ける。
- (2) 2名以上の専門職で支援対象者の自宅を訪問する。
- (3) 訪問で把握した内容を認知症サポート医が参加する会議（チーム員会議）で共有し、支援策を決定する。
- (4) 支援計画に沿って、適切な医療サービスや介護サービスの検討、家族支援を行う。
- (5) サービス利用につなげた時点で、ケアマネジャー等へ引継ぎを行い、初期集中支援を終了する。（支援期間は最長で概ね6か月間）

### 第1回チーム員会議

日時：平成29年2月15日（水）14時

場所：市役所第二庁舎2階会議室（8号会議室）

※チーム員への委嘱状の交付及び事業概要の説明を行った後、対象者の支援計画に係る検討を行う予定

### 【問い合わせ先】

糸島市 健康増進部 介護・高齢者支援課（担当：小林）  
電話：332-2070（内線1561） FAX：321-1139

## 移住促進豊かさ実感バスツアーの開催について

### 【概 要】

市は、初めての試みとして、糸島市への転入希望者を対象に、1泊2日の「移住促進豊かさ実感バスツアー」を開催します。定住促進策として自治体が発行する日帰りバスツアーは過去、筑後市やみやま市、久留米市で開催されましたが宿泊を伴うものは県内初です。

糸島市在住の添乗員が地元ならではの情報を盛り込みながら、主要観光地から産直市場、転入者が多数住む地域、いとしま応援プラザ等市の諸施設まで、小型のバスで市内各所を案内します。

また、先輩移住者との意見交換や、市地域振興課による移住説明会、糸島産食材を生かした食事などを通じて、参加者の皆様に糸島市の豊かさを実感していただき、転入を促進することを目的としています。

○日 時	平成 29 年 2 月 11 日（土曜日・祝日）・2 月 12 日（日曜日）
○場 所	J R 筑前前原駅集合・解散（宿泊場所：初潮旅館）
○内 容	・ 小型バスでの市内案内 ・ 糸島産食材を生かした食事の体験 ・ 先輩移住者との意見交換会 ・ 市地域振興課による移住説明会
○対象者等	転入希望者（メインターゲット：20 代～40 代）
○参加費	5,000 円（税込）食費（朝 1 食、昼 2 食、夜 1 食）・宿泊費込。
○定員	4 組（8～15 人程度）※参加申込みアンケート回答内容を基に選考
○申込締切	平成 29 年 1 月 30 日（月曜日）
○主 催	糸島市 ※本ツアーは、糸島市が「ちびたび」で糸島市内でのツアーに実績のあるオフィスパルに委託して実施。

### 【現状・課題】

- ▶ 本市への移住相談は、H28 年 1 月から 12 月で 222 件（イベントでのブース相談含む）。
- ▶ メディアに取り上げられることも増え、興味を持たれる方が増えた一方、イベントブース相談者のうち本市を訪れたことのある人は 49.4%に留まっている。
- ▶ インターネットやソーシャルメディアで受けるイメージと糸島市の現状との乖離を無くし、糸島市の現状を知った上で転入を決めていただくことが、転入後の満足度を向上させることに繋がる。
- ▶ 「訪れたことがある」と回答した人であっても、生活様式や地域特性は、実際に住んでみないと分からないことも多い。実際に住んでいる移住経験者や地元の人と意見交換を行うことで、具体的なイメージを掴むことが可能。

今回のバスツアーでは、実際に本市を訪れ、市内各所を巡り、市内在住者や先輩移住者と直接話をする機会を設けることで、本市への理解を深め、転入促進を図ります。

#### 【問い合わせ先】

企画部地域振興課定住・学研都市係（担当：大鶴、田中）  
TEL：092-332-2062（直通）

## 移住促進豊かさ実感バスツアー 行程(案)

	時間	場所	スケジュール	お食事	市
1日目	11:00	JR筑前前原駅	受付後、出発。車中にて概要説明。		●集合
	11:20	櫻井神社	遷宮の際、伊勢神宮からいただいた鳥居をご覧いただく。神官からご説明。		
	12:00	二見ヶ浦 緑の農園	夫婦岩をご覧いただく 産直へ立ち寄り		
	13:00 ～ 15:00	浮岳茶寮 (他候補:古材 の森、伊都安蔵 里)	昼食は糸島でも人気の「箱懐石」 市の概要説明、先輩移住者との懇談	昼:○	●説明 ●先輩移住者との懇談
	15:30	姉子の浜			
	16:30	ドワンチャン			
	19:00	初潮旅館 (夕食・宿泊)	予備時間 訪問候補:ミツル醤油、Studio Kura	夕:○	
	2日目	8:30	初潮旅館	ご朝食後、チェックアウト、出発	朝:○
9:00		福ふくの里	産直でお買い物(保冷バックもご用意)		
10:00		またいちの塩	またいちの塩田見学		
11:00		Kalaku			
12:00		船越漁港	カキ小屋での昼食	昼:○	
13:30		市内施設	いとしま応援プラザ、図書館(志摩館)を見学		●施設見学
14:00		やかまし村	家具工房、ガラス工房、お庭など見学 ★意見交換有		
15:45		伊都の杜 雷山観音	車内見学 十一面千手観音菩薩を拝観		
17:00	JR筑前前原駅		夕:×		

### 【備考】

◎JR筑前前原駅～櫻井神社間の移動 九大伊都キャンパスのそばまたはキャンパス内を通行

◎やかまし村～伊都の杜間の移動 東風小学校のそばを通行

※やかまし村……志摩小金丸。クラフト作家が集まっているエリアの通称。移住者多数。

いつも仕事の音がする事から、「やかましい」という事でこの名前が付いた。

※行程は参加者アンケートの回答内容を参考に最終決定

## 【糸島市】豊かさ実感バスツアー参加申込みアンケート

ふりがな 応募者氏名		性別	年齢
		男・女	歳
現住所	〒 ー		
電話・携帯		E-mail	@
現在の職業	①会社員・公務員 ②会社経営 ③自営業 ④パート・アルバイト ⑤無職 ⑥その他 ( )		
移住後の職業	①現職を続ける (ことが可能) ②転職を希望 (希望職種: )		
糸島市を知った きっかけ	① テレビ・新聞・雑誌 ② インターネット・ソーシャルメディア ③ 家族・友人・知人 ④ その他 ( )		
移住の動機			
移住ご予定時期	H 年 月頃 ① すぐに ② 子どもの就学時 ③ 就業決定後 ④ 会社を退職 (定年) 後 ⑤ その他 ( )		
移住予定者	家族数 人 ① 一人暮らし ② 夫婦のみ ③ 二世帯 (親・子ども) ④ 三世帯 (親・子ども・孫) ⑤ その他 ( )		
ご出身地 (UIJ ターン)	① 糸島市 ② 福岡県 ( ) 市町村 ③ その他 ( )		
居住地決定の 重視項目	① 交通環境 ② 子育て環境 ③ 教育環境 ④ 生活利便性 ⑤ インターネット環境 ⑥ インフラ設備 ⑦ 自然環境 ⑧ 物件価格 ⑨ その他 ( )		
希望物件	① 賃貸: 家賃 ( ~ ) 万円 ② 売買: ( ~ ) 万円 ③ 希望条件など ( )		
バスツアー参加人数	( ) 人【内訳: 大人 ( ) 人、小中高生 ( ) 人、未就学児 ( ) 人】		
バスツアーを通じて 知りたいこと	<p>(1) 糸島市での暮らしについて ①交通環境 ②子育て環境 ③教育環境 ④生活利便施設 ⑤医療環境 ⑥インターネット環境 ⑦インフラ環境 ⑧自然環境 ⑨住居 ⑩地域活動 ⑪伝統文化 ⑫その他 ( )</p> <p>(2) 仕事について ①農業 ②漁業 ③クラフト作家 ④市内での通勤 ⑤市外への通勤 ⑥その他 ( )</p> <p>(3) 先輩移住者の話について (特に、話を聞いてみたい人の属性) ①市内勤務者 ②市外勤務者 ③新規就農者 ④新規就漁者 ⑤クラフト作家 ⑥子育て中の主婦 ⑦その他 ( )</p>		
食物アレルギーの有無	無 ・ 有 ( )		
備考 (その他ご希望など)			

【問い合わせ・アンケート提出先】 オフィスパル (担当: 吉川、畝中) ※郵送、FAX またはメールでお申込下さい。

〒819-1123 糸島市神在 1048-6-308 TEL: 092-324-6932 FAX: 092-324-0008 MAIL: info@chibi-tabi.com

【主催】 糸島市地域振興課 定住・学研都市係 (担当: 大鶴、田中) TEL: 092-332-2062

※本ツアーは、糸島市から委託を受け、オフィスパルが実施するものです。



速報

# 糸島市への観光入込客数 613.7 万人に

■平成27年中の糸島市への観光入込客数：613.7万人（33.6万人増）

➢平成27年福岡県観光入込客推計調査により調査実施（速報値、県未公表）

項目	人数	前年比	全体比率
平成27年中観光入込客数	6,137,433人	5.8%増	—
うち、日帰り客数	6,032,229人	5.7%増	98.3%
宿泊客数	105,204人	13.2%増	1.7%
外国人観光客数	11,174人	71.1%増	—

※平成12年以降、15年連続で増加。

➢調査対象期間：平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

➢調査箇所：市内観光スポット等156か所

県指定の区分ごとに、観光客が多く立ち寄る観光スポット等を市が選別

【県指定区分】

- ①一般行楽、②祭・行事・イベント、③神社・文化財等、④ハイキング・登山、  
⑤海水浴、⑥キャンプ、⑦釣り・観光漁業、⑧フルーツ狩り、⑨ゴルフ

## ■観光入込客数の分析

➢もっとも人気のある観光地は農水産物直売所

・「伊都菜彩」「福ふくの里」「志摩の四季」など。

入込客数	割合	前年比
279.7万人	45.6%	3.0%増

➢カキ小屋入込客数が増加

・平成27年中のカキの出来が良かったこと、メディア等でPRが増えたことによるもの。

入込客数	割合	前年比
37.1万人	6.0%	22.9%増

➢祭・行事・イベント入込客数が増加

・サンセットライブ、クラフトフェス、ハンドメイドカーニバルなどの大規模イベントの充実や新規イベント（さくらいとしまつり）の増加によるもの。

入込客数	割合	前年比
11.3万人	1.8%	13.6%増

➢宿泊客が増加

・ビジネスホテル宿泊客（83,775人・前年比9.0%増）の増加によるもの。

入込客数	割合	前年比
10.5万人	1.7%	13.2%増

➢外国人観光客が増加

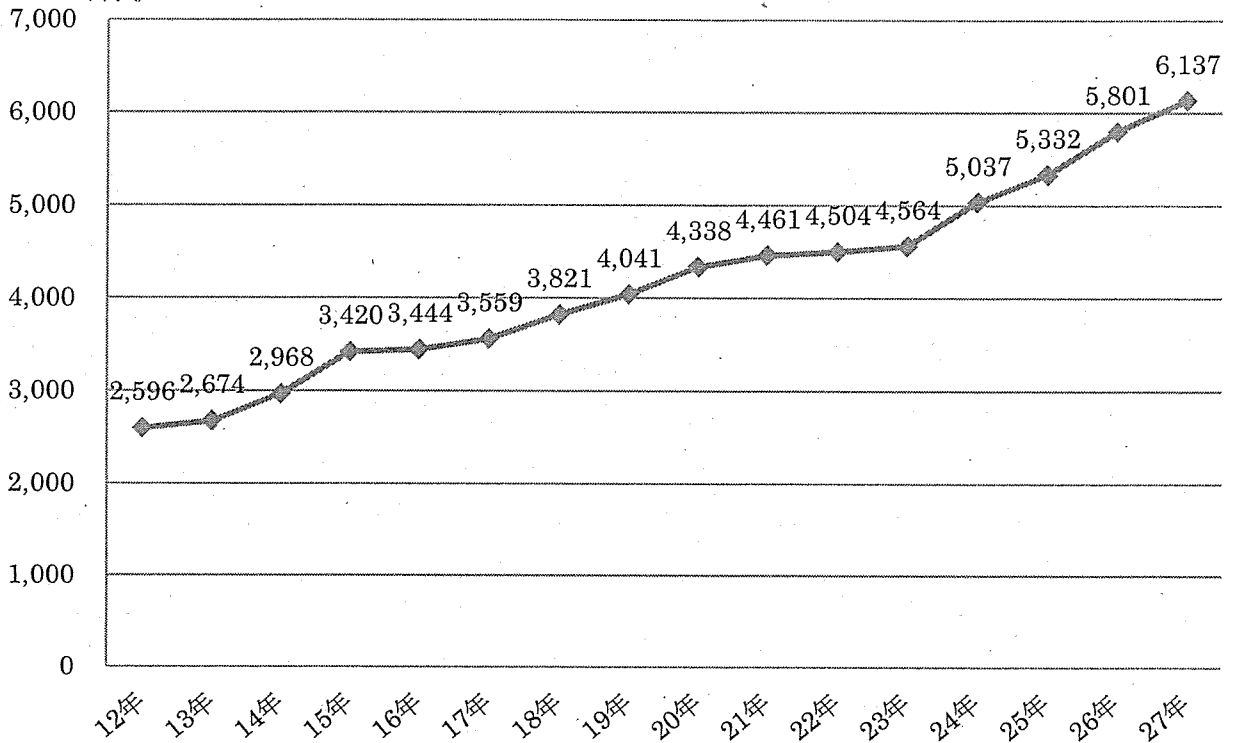
・白糸の滝や二見ヶ浦などの景勝地を訪れる外国人観光客が増加したことによるもの。

入込客数	割合	前年比
1.1万人	0.18%	71.1%増

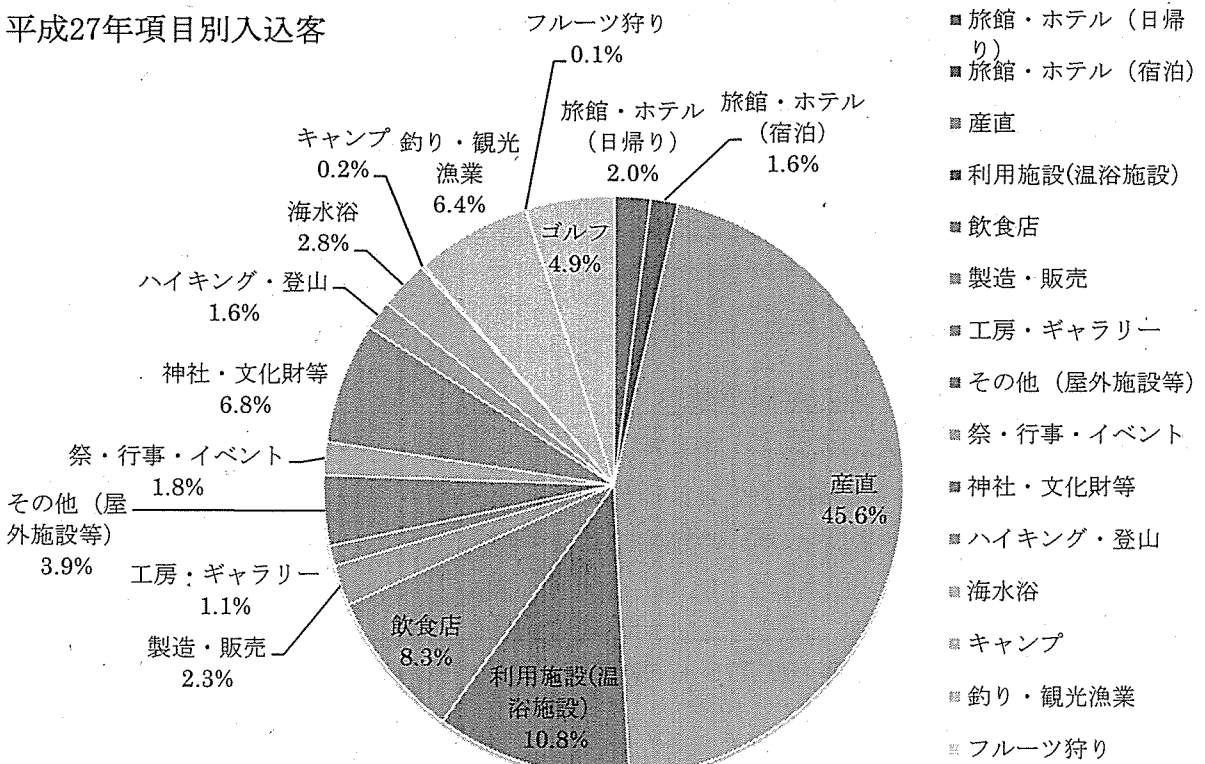
・韓国人（0.6万人）と中国人（0.3万人）が外国人観光客の76.8%を占める。

■観光入込客数

(千人)



平成27年項目別入込客



【問い合わせ先】

企画部 シティセールス課 観光振興係 担当：田中、須賀  
 TEL：323-1111 (内線 1334) 332-2079 (直通)



## ■糸島市観光入込客動向調査の結果概要

### 1. 調査の目的

「福岡県観光入込客推計調査」等では把握できない観光客の詳細な情報を収集・分析し、本市観光の課題を明らかにして、効果的な観光振興施策や事業立案の基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査の方法・調査期間

秋・冬調査は51地点、春・夏調査は50地点を選定

季節	方法	期間	サンプル数
秋	調査員による面接調査 (一部自記入)	H27年11月14日(土)～ H27年12月6日(日)	5,231
	留置調査 (一部の調査地点)	H27年11月2日(月)～ H27年12月6日(日)	
冬	調査員による面接調査 (一部自記入)	H28年2月1日(月)～ H28年3月1日(火)	5,064
	留置調査 (一部の調査地点)	H28年2月1日(月)～ H28年3月1日(火)	
春	調査員による面接調査 (一部自記入)	H28年5月18日(水)～ H28年6月12日(日)	5,218
	留置調査 (一部の調査地点)	H28年5月18日(水)～ H28年6月12日(日)	
夏	調査員による面接調査 (一部自記入)	H28年8月5日(金)～ H28年8月28日(日)	5,188
	留置調査 (一部の調査地点)	H28年8月5日(金)～ H28年8月28日(日)	
合計			20,701

### 3. 調査結果の概要

全 体	
★比較的女性の観光客が多く、10代から60代まで幅広い世代が来訪	
★近隣の福岡市からの来訪が最も多いが、糸島市民による市内観光も多い	
★糸島市へは観光目的、特にグルメと自然観賞を目的とした日帰り客が多い	
★糸島市へは友人や知人の口コミや誘いで来訪している人が多く、夫婦・カップル、家族旅行、友人旅行が多い	
★宿泊者のうち、福岡市で宿泊して糸島まで観光に訪れる人も多い	
★一人当たり消費額では、飲食は2千円台半ば、土産代に概ね3千円程度	
★自家用車で糸島に来て、そのまま回遊（一次交通＝二次交通）	
★最初の訪問地で完結している人が多く、市内回遊は少ない	
★リピーターが多く、糸島市の観光地満足度は非常に高い	
★糸島市への再訪問意向や定住意向も高い	
性別	男性 45%、女性 55%
年代	60代が 20%、20代～50代が各 15%前後
居住地	福岡市 34%、糸島市 26%、その他福岡県 18%
来訪経験	リピーター 75%
同行者	同行者平均 3.7人 友人・グループ 31%、家族・親族 30%、夫婦・カップル 29%
目的	観光 83%（主な目的：グルメ 35%、自然観賞 18%、買い物 17%）
きっかけ	友人や知人の口コミ・誘い 36%
旅行の日程	日帰り 87%、滞在期間は半日 52%
市内消費額	飲食費 2,600円、土産代 3,000円、宿泊費 10,500円
一次交通	糸島市までの移動：自家用車 80%
二次交通	糸島市内での移動：自家用車 83%
市内周遊 （調査地点以外）	二見ヶ浦 19%、白糸の滝 11%、芥屋の大門 7%、伊都菜彩 6%、 雷山千如寺大悲王院 5%、周遊なし 40%
観光地満足度	満足 96%
再訪問意向	また来たい 97%
移住意向	住みたい 43%